

広報 ずらんの里

2016年 6月号 No. 183

発行者

〒869-5161
八代市葭牟田町435番地
特別養護老人ホームずらんの里
Tel 0965-39-7511
Fax 0965-39-7512
施設長 福田道子

橋本タマエさん（97歳）はご家族からプレゼントされた洋服を着ての撮影でした。大変お似合いで「ありがとうな」と喜んでおられました。重松マチエさん（91歳）はご家族と一緒に記念撮影をされ「お母さん、ありがとう」と言われると感涙にむせびながら喜んでおられました。

これからも笑顔で過ごして頂き元気で長生きしてもらいたいです。

介護福祉士 岡崎貴子



「母の日」の贈り物

5月8日（日）は母の日でした。日頃の感謝を込めて「ありがとう」の言葉とカーネーションの花束と一緒に記念撮影を行いました。皆さん、素敵な笑顔で喜んでおられました。

地震発生

5月19日（木）14時よりずらんの里内で避難訓練が行われました。今回の訓練では『熊本地震』を教訓に震度6の地震が起きたあ



地震発生中は車椅子に掴まり固定します！

祝 ～6月の誕生者～

中島 トミ子様
(S3. 6.27 88歳)

桑原 恵美子様
(S10. 6.19 81歳)

新入所者様紹介

避難訓練

と、厨房より火災が発生したとの想定で行われました。実際に地震は時と場所を選ばずやってきます。訓練ではその時の様々な介護場面で職員がどのような行動を取ればよいかをマニュアル化し、マニュアルに沿った対応を実践することになりました。

地震発生その瞬間、その場面に応じた行動が冷静にできるかは日頃の訓練が必要になってきます。



1Fホールに避難しました。皆さんお疲れ様でした！

今後もマニュアルの検証及び訓練を重ね、災害時に利用者の安全・安心そして何より命を守る行動を取れるようになりたいと思います。



早田 民子様

大正13年 7月29日 91歳

「大相撲が大好きで夏場所を楽しみにされています。」

広報誌における写真や記事は個人情報保護法に基づき本人およびご家族の承諾のうえ掲載しています。

社会福祉法人天龍会の【事業所紹介 PART 3】

【特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）とは】
寝たきりや認知症などで常に介護を必要とし、居宅での生活が困難な方に対して、入浴・排泄・食事等の介護、日常生活の世話、機能訓練、健康管理、療養上の世話を行う施設です。原則65歳以上の要介護者（原則として要介護3以上）が入所できます。

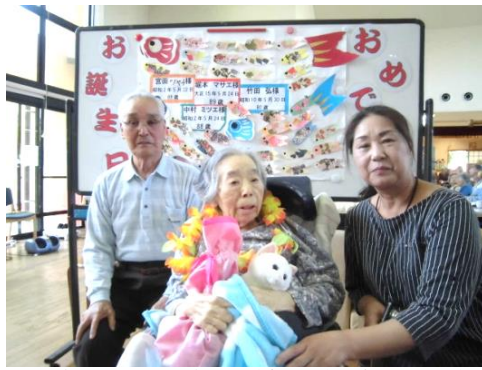


『特別養護老人ホーム すずらんの里 18年目を迎えます』

【入所申込みについて】

施設に直接申し込みをしていただきます。
特別養護老人ホームすずらんの里（定員50名）
住所 八代市葭牟田町435
Tel 0965-39-7511 Fax 0965-39-7512

久々の寿司の日という事も
あり、なかなか食べに行く機会
がない皆さんは幸せそうな表
情で、食されていました。



誕生者の堀本さん！今年もご家族の方と楽しいひと時を過ごされました！

5月18日（水）に5月生まれ
の方の誕生会が行われました。
5月生まれの堀本マサエさん
（90）、シヨートステイ利用中の
2名の方を皆で祝福したあと
ずし市場、松江店の寿司が振
る舞われました。

5月誕生会 ～寿司の日～

すずらんの里 委員会メンバー紹介



松本みち 井上賀 宮田充瑠 今田孝一 深田順子
久保田照代 田川裕子 岩水美鈴 林阿寿美 植村基子

褥瘡・感染委員会

『褥瘡委員会：入所者の中には身体状態により様々な原因で褥瘡が発生しやすくなる方がおられます。褥瘡を作らない、悪化させない、早く治すを目的として褥瘡予防対策に取り組んでいます。褥瘡を作るのは「介護の恥」「看護の恥」とも言われています心地よい生活を過ごしていただけるよう褥瘡ゼロに向けたケアに努めていきます』



白石加代子 前田由美子 小田和也

『感染委員会：施設の感染対策指針のもと衛生管理委員会と協力し、連携を図ることで感染症や食中毒の発生、まん延の防止のための対策など感染対策を行っています。メンバーが中心となり定期的に施設内感染対策チェック、感染症及び食中毒の流行状況確認と対応（マスク・手洗い、手指消毒の徹底）感染対策に関連する施設内研修を年2回実施しています。』